

災害への備えについて(お知らせ)

令和8年5月29日から防災気象情報が新しくなりました

	河川氾濫	大 雨	土砂災害	高 潮
警戒レベル 5相当	レベル5 氾濫特別警報	レベル5 大雨特別警報	レベル5 土砂災害特別警報	レベル5 高潮特別警報
警戒レベル 4相当	レベル4 氾濫危険警報	レベル4 大雨危険警報	レベル4 土砂災害危険警報	レベル4 高潮危険警報
警戒レベル 3相当	レベル3 氾濫警報	レベル3 大雨警報	レベル3 土砂災害警報	レベル3 高潮警報
警戒レベル 2	レベル2 氾濫注意報	レベル2 大雨注意報	レベル2 土砂災害注意報	レベル2 高潮注意報
警戒レベル 1	早期注意情報			

河川氾濫、大雨、土砂災害、高潮に関する情報等が、ひなん情報の5段階の警戒レベルに対応し、ひなんの判断がしやすくなりました。

※ 詳しくは、気象庁のホームページで
ご確認ください。



気象庁
ホームページ

POINT! 警報・注意報の情報名に「レベル」が付記されます

POINT! 河川の氾濫の危険度の伝え方が変わりました(特別警報の新設など)

POINT! 「警戒レベル4相当」の情報は「危険警報」として発表されます

災害種別に「内水」が加わりました

新たな防災気象情報の運用開始に伴い、ひなん情報の発令対象となる風水害について、これまでの「土砂・洪水・高潮・津波」に加え、新たな災害種別として「内水(内水氾濫)」が追加されました。

内水(内水氾濫)とは

急激な豪雨が発生し、雨量が下水道等の排水能力を超えて浸水する現象です。レベル4大雨危険警報が発表された場合などに、ひなん情報を発令します。

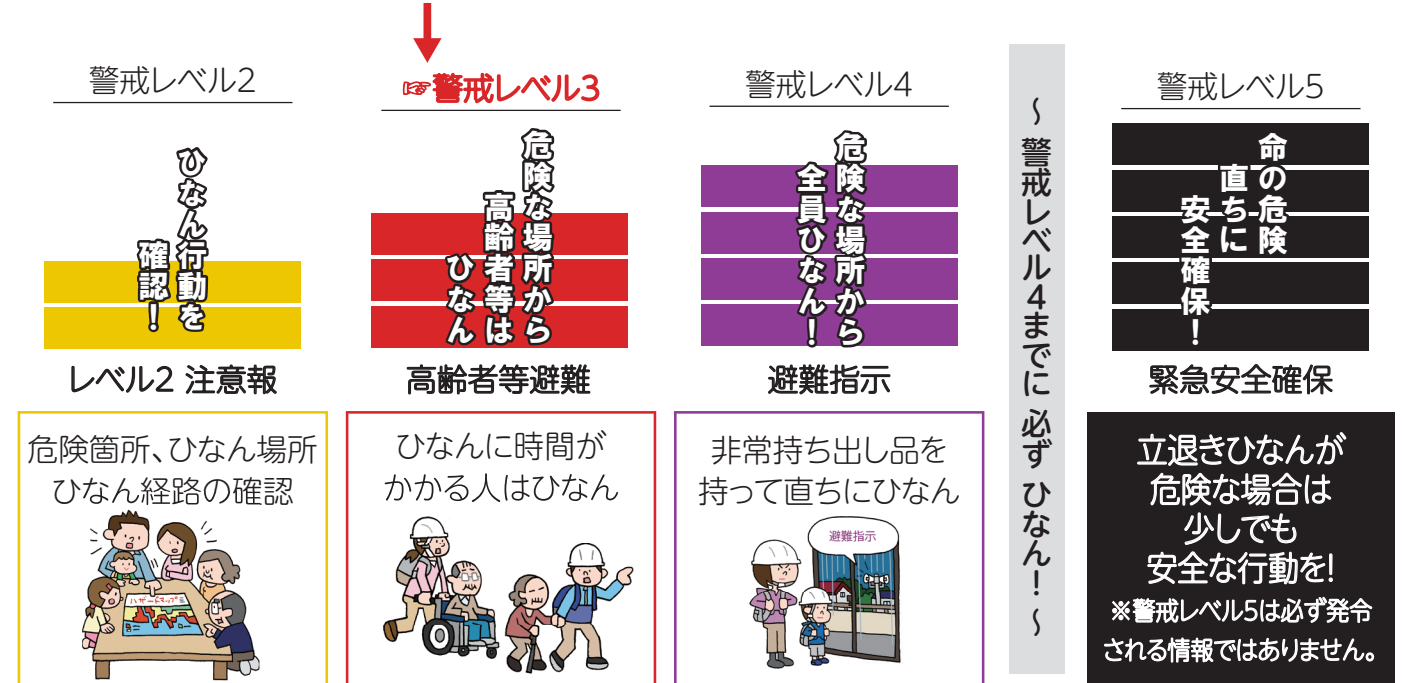


ひなん情報を発令した場合、市は床上浸水が想定される区域を含む小学校区を対象に、ひなん場所を開設します。ひなん情報を発令した地域にお住まいの方は、**市が開設するひなん場所へのひなんや、自宅の2階以上にひなんするなどのひなん行動をとりましょう。**

※ ひなん情報を発令した場合でも、床上浸水が見込まれない小学校区では、ひなん場所は開設されません。

はやめの ひなんを心がけましょう

災害危険区域にお住まいで、ひなんに時間がかかる人は、**「警戒レベル3 高齢者等避難」**が発令された段階で ひなん行動をとってください。



地域の危険な区域を確認しましょう

ひなんに関する情報は、土砂災害警戒区域や浸水想定区域などの**危険区域を対象に発令**します。地域の危険な区域やひなん場所を、あらかじめハザードマップ*で確認しましょう。
※ ハザードマップ(土砂災害・洪水・津波・浸水(内水))は、市ホームページで
ご確認ください。



ハザードマップ
について

ひなん先を確認しましょう

お住まいが **災害危険区域**にある 場合

ひなん先として、**安全な場所にある親族・知人宅や市が開設するひなん場所***1などが考えられます。家族や友人などと相談して、**あらかじめ ひなん先を決めておきましょう。**
なお、津波などの浸水に対しては、早めに浸水想定区域外の高台など安全な場所にひなんすることが原則ですが、高台などに行くことが難しい場合のために近くの浸水時緊急退避施設*2を確認しておきましょう。

お住まいが**災害危険区域**にない 場合

災害時に**自宅で生活できなくなった場合**に備えて、市が開設するひなん場所など**ひなん先を確認**しましょう。

- ※1 原則、小学校区内の拠点的なひなん場所(1箇所)を開設します。
市が指定する全てのひなん場所を開設するわけではありません。
- ※2 津波や洪水、高潮等の際に、緊急一時的に退避するための施設です。
市が開設するひなん場所や浸水時緊急退避施設は、市ホームページでご確認ください。



浸水時緊急退避施設
について

必要なものを備蓄しましょう

災害に備えて、

3日分(できれば1週間)の食料や飲料水などを備蓄しましょう。
生活の中で使っているものを多めに買い、消費しながら買い足す「ローリングストック法」なら、効率よく備蓄ができます。



非常持ち出し品を準備しましょう

ひなん先で過ごすために必要なものを、非常持ち出し品として準備しましょう。

持ち出し品の例

- | | | |
|--|---|---------------------------------|
| ☐ 水(500mlを3本程度) | ☐ 非常食(缶詰、ビスケット、チョコレートなど) | |
| ☐ 懐中電灯・ヘッドライト | ☐ 携帯ラジオ | ☐ 乾電池 |
| ☐ 携帯電話(充電器) | ☐ 現金(小銭を多めに) | ☐ 衣類(下着) |
| ☐ タオル | ☐ マスク | ☐ 歯ブラシ |
| ☐ 雨具(カッパ) | ☐ 普段から服用している薬 | |
| ☐ 手帳(マイナ保険証、障害者手帳、介護保険証、おくすり手帳など) | など | |
- ※ 自分自身や家族構成に合わせて、持ち出し品を検討しましょう。



防災情報を入手しましょう

防災情報を入手することは、ひなんの判断をするうえで、とても大切です。

テレビ(データ放送)

リモコンのdボタンを押すと、データ放送画面が表示され、
気象情報やひなん情報などの防災情報を確認することができます。

d(データ)ボタン



広島市防災情報メール

ひなん情報の発令や、開設中のひなん場所などの情報をメールで受け取れます。



登録用メールアドレスに空メールを送って事前登録をしてください。
▶entry@k-bousai.city.hiroshima.jp

ファクスによるひなん情報の提供



聴覚障害者でファクスを所有する方は、ファクスでひなん情報等を受け取るサービスを利用できます。
詳しくは市ホームページをご確認ください。

ひろしま避難誘導アプリ

ひなん情報などをお持ちの携帯電話に自動的に表示してお知らせしたり、現在地の危険度や開設している最寄りのひなん所へのルートを表示したりします。



詳しくは市ホームページをご確認ください。

ひなん訓練を行いましょう

ひなん行動を迅速かつ確実に行うためには、「わたしのひなんシート」の作成に加え、訓練の実施により実効性を高めることが大切です。実際にひなん場所までの経路をたどってみる移動訓練や、自宅で行える訓練もあります。以下の例を参考に、訓練に取り組みましょう。

① ひなんの呼びかけ確認訓練

ひなん情報やひなんのタイミングについて、支援者から本人に連絡し、ひなんの呼びかけ体制を確認しましょう。

② 持ち出し品の確認訓練

持ち出し品の準備や、器材の点検と使い方を確認しましょう。

③ 地図上でのひなん経路の確認訓練

ハザードマップ上でひなん経路などを確認しながら、必要事項を書き込み、ひなんを支援してくれる人と共有しましょう。



このほかにも、**地域で行われる防災訓練に参加**するなど、「わたしのひなんシート」を活用した訓練に取り組み、計画の実効性を高めましょう。

町内会・自治会に入りませんか？

町内会・自治会とは

町内会・自治会は、その設立から運営まで地域住民自らの手で行われており、地域住民にとって身近な団体です。住民相互のふれあい、共同活動を通じて地域を快適で住みやすくするため、祭りや運動会などの行事の開催、防災・防火・防犯活動、高齢者などの福祉増進のための活動など、さまざまな活動を行っています。

町内会・自治会への加入は、**地域とのつながりを持つきっかけ**となります。平常時から地域とのつながりを持つことで、災害時に地域住民からの声かけやひなん支援を受けやすくなります。
災害時の助け合いは、**日ごろのあいさつや声かけ**といった関係づくりの延長にありますので、**町内会・自治会に入って、安心して暮らせる地域づくりに参加**しましょう。



詳しくは市ホームページをご確認ください。



町内会・自治会について